

（添付資料）

補助金等個別検討結果

	頁
1.補助率を適用し、補助基本額を割り返して算出しているもの	1
2.補助の目的と事業の関係が不明瞭なもの	4
3.成果が不明であるもの	10
4.少額補助金	14
5.運営費補助	19
6.補助の有効性に問題があると認められるもの	24
7.剰余金・基金等が多くあるもの	30
8.その他	34

1 . 補助率を適用し、補助基本額を割り返して算出しているもの

現在は、任意奨励的補助金における補助率の適用は廃止となっている。補助率を適用し、割り返しによる補助基本額を記載することは、無駄な事務コストを省く意味からも止めるべきである。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
123	900 千円	市民の防災思想及び防災技術とその行動力の普及向上を図るとともに、火災予防の強化のため消火活動技術の研究訓練等を助成し、よって各種災害による被害の軽減を期し市民の安全を守り、社会福祉の向上に貢献する。	補助金の算定根拠が、市が実施する事業を補完するものの補助として、防火協会の火災予防宣伝費及び火災予防運動費の 8 / 1 0 となっているが、なぜ 8 / 1 0 が適正なのか明確な根拠がない。実際は、補助金額が市の補助金予算枠の中で配分された金額に決定されるのが実情である。
	八王子防火協会補助金 総務部防災課		
127	505 千円	単位 PTA の健全な育成を図り、相互の協力により児童の健全育成に努め、八王子市の教育振興に寄与するため事業を行う。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
	小学校 PTA 連合会補助金 社会教育部社会教育課		
128	350 千円	市立中学校 3 5 校の連携を図り、協力して活動することにより、会員相互の向上と子供の健全育成を期するため、事業を行う。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
	中学校 PTA 連合会補助金 社会教育部社会教育課		
129	450 千円	市民文化活動の振興に寄与し、加盟団体及び年間計画事業に参加する市民・市民団体の育成や文化活動への関心・意欲の高揚に資する。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
	八王子文化連盟補助金 社会教育部社会教育課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
130	150 千円	音楽を通じての青少年の健全育成・社会奉仕を図るとともに、市民文化の向上に資する。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
八王子市民吹奏楽団育成補助金			
社会教育部社会教育課			
131	140 千円	市内青年団体の健全で活発な集団活動を促進することにより、青年たちの友好、連帯、協力意識を醸成する。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。 .
八王子青年団体連絡協議会補助金			
社会教育部社会教育課			
132	290 千円	スカウト活動の推進により、市内青少年の健全育成を図るため、協議会活動を実施、リーダー・スカウト等の資質向上と地域に根ざした活動を進める。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
ボーイスカウト東京連盟八王子地区協議会補助金			
社会教育部社会教育課			
133	130 千円	スカウト活動の推進により、市内青少年の健全育成を図るため、連合会活動を実施、リーダー・スカウト等の資質向上と地域に根ざした活動を進める。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
ガールスカウト八王子連合会補助金			
社会教育部社会教育課			
134	1,794 千円	市内子供会の健全な向上発展と育成団体相互の連絡及び福祉の向上を図る。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
八王子市子供会育成団体連絡協議会補助金			
社会教育部社会教育課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
135	150 千円	青少年の非行防止並びに健全育成を図るとともに母親の立場から交通安全等を含めた環境浄化活動を推進する。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
八王子母の会補助金			
社会教育部社会教育課			
136	1,000 千円	全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人達の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪等の無い明るい社会を築こうとする全国的な運動。	市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
社会を明るくする運動八王子市実施委員会補助金			
社会教育部社会教育課			
124	2,890 千円	教育に関する研究調査を行うとともに会員相互の研修に努め、教育の振興を図る。	すべての経費が補助対象となっているが、総経費約 4 百万円のうち、補助金は約 3 百万円すなわち、平均約 75%を補助に依存している。補助金要望、交付申請、実績報告いずれにおいても、総会費、各部活動費、会報発行費等、費目ごとに様々の補助率を使用して補助金を割り当てている（例えば、実績報告書によれば、総会費は約 25%、各部活動費約 80%）。このように個々の費目に分解して異なった比率で割り当てる根拠、意義とも薄いと思われる。
125	1,872 千円		
八王子市小学校教育研究会補助金 同中学校教育研究協議会補助金			
学校教育部指導室			
126	5,200 千円	当協会が行う研修に対して補助金を交付することにより、教職員の資質の向上を図る。	補助金は、5,200 千円と定額であるのに、補助率 8 / 1 0 が守られている。 市の補助金予算枠の中で配分された金額に補助金額が落ち着くよう補助対象事業費を調整しているのが実情である。
八王子市私立幼稚園協会補助金			
学校教育部学務課			

2. 補助等の目的と事業の関係が不明瞭なもの

補助事業等の効果が補助の目的に直接結びつかないと思われるものがある。このような補助事業等については、有効性が疑わしいため、見直しが必要である。

また、宿泊を伴う研修は、市においては、財政状況を理由として宿泊を伴った先進地視察を原則禁止していることを勘案して自粛することが望まれる。市の行動基準に比べて著しく高額の記事代の支給についても同様である。

番号	実績	概要	問題点等
93	518 千円	清掃施設の運営管理、環境整備等に関わる諸問題を協議し、地元住民との相互理解を深め、事業の円滑な推進を図るため、戸吹最終処分場等清掃事業施設対策協議会の事業費の一部を市が補助している。	1泊2日の日程で、静岡県の子清掃施設の視察を行っているが、実際に視察が行われたのは1日目の午後1時半から3時半のみであった。
	戸吹最終処分場等清掃事業施設対策協議会補助金		
	清掃部戸吹清掃工場		
94	353 千円	清掃施設の運営管理、環境整備等に関わる諸問題を協議し、地元住民との相互理解を深め、事業の円滑な推進を図るため、館清掃工場運営協議会の事業費の一部を市が補助している。	当協議会では平成11年11月に、市からの補助金を財源に新江東清掃工場を視察しているが、その際の昼食代(1人当り4,500円)が補助対象とされている。
	館清掃工場運営協議会補助金		
	清掃部館清掃工場		
302	80 千円	南多摩地区及び島しょ地区消防団幹部により実施し、例年東京消防庁幹部職員が講師となり、各種災害に対応できる消防団を養成する。	毎年市は消防団長及び副団長一人当り2万円の研修費用を当連絡会に支出している。平成11年度は栃木県において1泊2日の日程で研修を行っているが、研修の内容は宿泊を伴う必要のないものといえる。
	南多摩地区島しょ地区消防団連絡協議会幹部研修会負担金		
	総務部防災課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
302	165 千円	三多摩地区消防団相互の連絡 協調並びに消防団員の消防知 識・技能向上及び福利厚生を図 り、消防団の活動を強化するも の。	会員市町村の負担金を財源に、山梨県において 1 泊 2 日の日程で理事会と総会が 同じ日に開催されているが、研修内容・総会の内容からして山梨県で行う必要はな く、二日目の朝食後に解散されていることから、宿泊する必要はなかったといえる。
三多摩消防団連絡会 負担金			
総務部防災課			
106	200 千円	自然環境の保護に努め、規律ある 団体活動を通じて自然について 学び考え、隊員の友情を育て、 健全な心身を作る。また、奉仕の 精神を身につけ、みどり豊かな故 郷の美しさと歴史を知り郷土愛 を育てる。	補助の目的は、現在では、青少年教育の一環として認識されているようであるが、 事業内容との関係が曖昧である。
森林パトロール事業補助 金			
産業振興部農林課			
139	50 千円	八王子千人同心の子孫等である 会員が千人同心ゆかりの地の 史跡等の視察研修を行う経費の 一部を補助することによって、地 元の文化財の保存・活用の意識の 向上を図る	千人同心旧交会は、市からの補助金を千人同心の歴史とゆかりのある静岡への 視察研修の交通費の一部として使用しているが補助目的との関係が明確ではない。
八王子千人同心旧交 会補助金(史跡調査研修)			
社会教育部郷土資料 館			
302	445 千円 (内研修負 担金 320 千円)	南多摩地区消防団相互の連絡 協調と親睦を図り、消防団活動を 強化するとともに、消防思想の普 及と住民共同の福祉に寄与する。	毎年市は消防団長及び副団長一人当たり 8 万円の研修費用を当連絡会に負担して いる。平成 11 年度は 2 泊 3 日の日程で栃木県・福島県において研修を行っている が、領収証等を通査した結果、施設見学科、昼食代(1 人当たり 1 食 3,000 円程度) 等が含まれている。さらに、余った額については、当連絡会の事業費に使用してい る。
南多摩地区消防団連 絡会負担金(災害対策 視察研修負担金含む)			
総務部防災課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
43	1,500 千円	協会が行う犯罪防止の普及宣伝、青少年の保護育成等の事業に対する補助を行う。	以下の支出は、補助の目的に照らして疑問である。 1. 宣伝活動費に含まれる講師に対する 1 人当たり 3,500 円の弁当代 2. 宣伝行事費に含まれる防犯協会のイベントに人集めのために出演した歌手への謝礼金（50,000 円） 3. 青少年保護育成活動費に含まれる 3 月に行われた活動の反省会費用
八王子防犯協会補助金			
総務部庶務課			
95	433 千円	清掃施設の運営管理、環境整備等に関わる諸問題を協議し、地元住民との相互理解を深め、事業の円滑な推進を図るため、北野清掃施設・下水施設関係町会連絡協議会の事業費の一部を市が補助している。	懇親会費用（飲食代 110,077 円）等の支出は、補助の目的に照らして疑問である。
北野清掃施設・下水施設関係町会連絡協議会補助金			
清掃部北野清掃工場			
143	200 千円	スポーツを通じて少年・少女の健全育成を達成するためスポーツ事業を行い時代をになう少年少女のために活動している。	補助金を一部財源として、少年団の役員・指導員等の研修会が行われているが、市が当少年団への補助を奨励的補助と位置付けていることからすれば、当少年団の事業実施に直接的に必要な費用のみ補助すれば足りると思われる。
八王子スポーツ少年団補助金			
社会教育部体育課			
296	26 千円	東海自然歩道が通過している関係団体が御互いの連携を深め、各地の優れた個性と魅力を紹介し、観光レクリエーションのマナーの啓蒙活動と地域社会の発展に寄与する。	事業報告書によると主な活動は、三重県の湯の山観光ホテルでの理事会・総会。（市長、農林課長が出席。）成果物は、コースガイド、総会議事録等。 26 千円のうち、10 千円は加入負担金で、16 千円は総会への参加負担金。 市にある高尾山は東海道自然歩道の起点となっており、観光事業推進のために加入が必要とのことであるが、必要最小限の人数が参加することが望ましい。
東海自然歩道連絡協議会負担金			
産業振興部商工課			
296	128 千円	市民相互の連携と親睦融和を深め、安全で効率的な旅行を目的として実施する。	関西・四国方面への 2 泊 3 日旅行へは、助役及び部長参加。市民旅行への参加が観光事業の振興に結びつくのかどうか不明である。
八王子市民旅行負担金			
産業振興部商工課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
87	400 千円	斎場の近隣住民と調整・協議を行うことにより相互の理解を深め、斎場運営の円滑化を図る。	補助金の大部分（350 千円）が年 1 回の視察研修旅行（1 泊 2 日）に充てられている。 平成 11 年度の研修は、『火葬後の遺族による遺骨確認』を実施している先進斎場（愛知県半田市）を視察したことにより、委員の理解が得られ、翌年度から実施できるようになったとの成果報告がある。 近隣住民の八王子斎場への理解を、視察旅行に代わる手段で得るべきある。
斎場近隣運営協議会補助金			
市民部斎場事務所			
97	600 千円	メーデーの実行委員会への補助。	補助の目的（労働者の労働福祉の向上）への明確な効果は認め難い。
三多摩メーデー補助金（連合会系）			
産業振興部産業政策課			
98	100 千円	メーデーの実行委員会への補助。	補助の目的（労働者の労働福祉の向上）への明確な効果は認め難い。
三多摩メーデー補助事業補助金（全労連系）			
産業振興部産業政策課			
61	520 千円	地域の駐車秩序の確立及び交通の安全と円滑に寄与するため活動する同協議会への財政援助。	補助事業の支出のうち、282 千円が総会後の懇親会における飲食代（6,000 円 × 47 名分）である。 この支出は、実質的には会費収入で賄われているが、現時点では、懇親会についても補助対象事業として扱われている。今後は、懇親会は、補助対象外事業として、取扱いを明確に区分するとともに、市としてどの事業に補助していくのか明確にし、補助金額を再検討するべきである。
八王子交通安全活動推進委員協議会補助金			
環境部交通安全課			
91	499 千円	本文中記載	
八王子市採石ダンプ対策協議会補助金			
環境部環境保全課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
44	1,000 千円	高尾防犯協会補助金 総務部庶務課	本文中記載
65	2,510 千円	たばこの市内買いをPRし、市たばこ税の増収を図る。また、町の美化活動、未成年者の喫煙防止キャンペーンなどを通して、たばこのイメージ向上や青少年の健全育成を推進する。 税務部住民税課	1.たばこの売上増進と補助金の関係には明確な関連がない。 2.たばこ税の負担者は喫煙者であるので、たばこ業者に補助金を支給する根拠がない。 たばこ税は市にとって重要な税収であるので、業界団体への補助金という形ではなく、たばこの市内買いに直接つながるような方策を検討すべきである
69	500 千円	八王子市遺族会の実施する戦没者の遺族慰安事業の経費の一部を助成するもの。毎年4月15日に慰霊塔での戦没者追悼式を午前中に実施し、午後に親睦会を実施している。 福祉部福祉総務課	補助対象事業は演芸鑑賞会である。
79	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。 福祉部障害者福祉課	専ら会員相互の親睦目的で行われており、特に研修は伊香保、鎌倉で行われている。
278	3,533 千円	南多摩地域内において保護司が行う活動等に対し、援護するための負担金。 総務部庶務課	平成11年度会務報告によれば、負担金を一部財源に、各分区ごとに1泊2日の日程で研修旅行を行っているが、その際、南信州昼神温泉方面のワイン工場見学や、温泉地域における懇親会を行っている分区がある。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
137	10,038 千円	本文中記載	
八王子市青少年対策地区委員会活動補助金			
社会教育部社会教育課			
242	949 千円	市民の環境に対する意識が高まる中、環境基本法の本質のもと、その高まりを更に広げ支援するため市民参加のもとに実施する。	市からの補助金を財源にフリーマーケットを開催しているが、環境意識の向上という目的を達成する手段としては疑問である。(フリーマーケットで得た収益金を環境事業に投入するわけでもない。)
八王子環境フェスティバル実行委員会負担金			
環境部環境保全課			
136	1,000 千円	全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人達の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪等の無い明るい社会を築こうとする全国的な運動。	補助の目的と事業内容の関係は、不明瞭である。
社会を明るくする運動八王子市実施委員会補助金			
社会教育部社会教育課			
270	4,022 千円	八王子市立中学校生徒が連合して行う各スポーツ大会への補助を行う。	役員弁当代等の比重が高い。補助金の平均 25%が使用されている。野球部大会などは、季節ごとの3大会に80食ずつも用意している。 昼食代は、大会のために招聘している審判等のための支出等必要最小限に抑えるべきであり、来賓のための支出は節約することが望ましい。
中体連連合行事補助金			
学校教育部学務課			

3. 成果が不明であるもの

補助事業者からは、実績報告書とともに事業報告書を提出させることになっている。所管部署は、補助金等の効果について、実績報告等の審査だけでなく、実態調査等を積極的に行い、把握に努めるべきである。また、成果報告については、定型のフォームはないが、メモ程度のものも見られる。具体的な成果について、報告させるべきである。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
138	1,701 千円 (うち車人形は300千円)	文化財の保存・管理活動(活用)等については、管理費、活動費等に経費を要し、所有者等への負担となるため、その経費の一部を補助することにより安心して文化財の保存・伝承・活用に努めてもらう。	補助事業者は都からは無形文化財の保存伝承費として補助金を受領しているため、市からの補助は管理的経費として当事業者の稽古場の電力料・通信費等に使用されている。当事業者は当事業から自前の収入を得ているので、その性質や収支の内容を考慮する必要がある。すなわち、当事業者の総収入・支出が記載された事業報告書を入手して、都のみならず市からの補助も必要であるか、再検討することが望まれる。
	市指定文化財等保存事業等補助金		
	社会教育部郷土資料館		
99	4,738 千円	八王子市の農林畜産物及び物産品の展示即売を行い、農業の販路の開拓と技術、品質の向上、農業に対する理解を深める。市と八王子市農協が費用を折半しており、市は、会場設営費、委託費(警備)を負担している。	市民へのアピールと既存の農家の経営安定とを目的としたものとなっており、本来の趣旨である『八王子市農業の振興』という目的からは離れてしまったのではないと思われる。 『八王子農業の販路の開拓、技術・品質の向上、市民理解の増進』の補助を行うのであれば、農協側にこれらを達成するための具体的な目標を設定させ、それに対して達成度がどのようであったか報告させるべきである。
	豊かさと輝きのフェア事業費補助金		
	産業振興部農林課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
212	1,356 千円	協会主催研修のほかに、各園実施研修があり、一人当たり 4 千円が 339 人に対して支給されている。	1. 一方で協会実施研修があるので、各園の自主性を尊重しながらも、各園で実施すべき研修の内容及びそれらをより効果的ならしめるための指針等があっても良いのではないと思われる。 2. 各園の研修の方針（事前）、成果報告（事後）を報告させることが必要である。研修内容を見ると、教材購入費に充てられているケース、泊りがけの研修に参加しているケースさまざまである。そのなかで、『食糧費』とされているものは補助対象外、『領収書紛失』は補助対象外、と形式的に判定されているが、効果が上がっているか否かを問題とすべきだと思われる。
	教職員研修費補助金（各園実施分）		
	学校教育部学務課		
267	285 千円	八王子市障害児教育研究会における運営費・運動会費を補助する。	1. 平成 11 年度は、5 月 24 日に障害児教育研究会事業 315 千円の、7 月 14 日に合同運動会事業費 240 千円の二度の申請手続きが取られている。 2. それぞれの事業について成果報告がなされていない。 3. 市が助成する必要性が高い事業とはいえ、会規約にあるように会費を徴収している様子はなく、来客への弁当代等、なぜ市が負担しなければならないのか不明なものが含まれている。 八障研の事業目的及び事業計画を明確にし、その活動に対して市が補助すべき範囲を明確にすることが必要と思われる。 また、一年度に複数の申請を行うことを止め、事務の簡素化を図ることが必要。
	八王子市障害児教育研究会事業補助金		
	学校教育部学務課		
152	854 千円	町会等が実施する研修事業に対し補助金を交付し地域活動の活性化に資する。	対象団体 9 団体のうち、毎年研修を実施しているのは実質的には 3 団体のみである。そのうちもっとも大きい町会連合会の研修において、76 名が参加しているが、補助金交付規程に従い、対象地域内 266 町会、99 千世帯分の補助金が交付され、静岡県掛川市～館山寺温泉への 1 泊 2 日の研修旅行が持たれている。 町会等への研修費用の補助を行う場合、研修成果を報告させるべきである。また、何故補助金の算定が、参加人数ではなく、町会等の対象地域内の団体数や世帯数に基づいてなされるのか不明である。
	八王子市町会等連合団体研修事業等補助金		
	市民部市民課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
108	4,420 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、各織物組合の実施する事業の補助を行う。	展示場への入場者数は、一部把握されているが、八王子織物産業への波及効果が適切に把握されていない。 大規模な展示会等を開催するための補助金については、一定期間毎に、それらのイベントを行なうことによる波及効果を把握し、効果との比較において補助金の額及び支給の可否を検討することが適切である。
八王子織物振興事業補助金			
産業振興部商工課			
120	1,000 千円	八王子市商工会議所が中心となって構成する八王子ファッション都市協議会の事業費を助成し、産業経済の活性化、地場産業の振興など、活力あるまちづくりを推進する。具体的には、八王子ファッション都市協議会におけるプロジェクト『クリエイション部会』、『花咲部会』、『コンパニオン部会』の事業全般を補助する。平成 8 年に開始されたが、平成 12 年度は、補正予算により 300 万円にまで増額。	このようなイベントを催す効果は、地域社会に対して長期的に刺激を与えることが予想され、活性化につながると期待されているが、他方、イベント自体が目的化しないように留意する必要がある。そのためには、本来の目的である産業経済の振興に対する効果測定を行う必要がある。
活力のある都市づくり推進協力事業補助金			
産業振興部商工課			
145	300 千円	市民体力づくり地区組織の連携を図り、育成推進に努めるとともに市民の体力づくり運動の理解と関心を深める。	市からの補助金 300 千円のうち 108 千円がブロック研修会費に使われている。各ブロックからの研修会の報告書が提出されているが、補助効果の有無・程度が判断できにくいものがある。
八王子市民体力づくり推進連絡協議会補助金			
社会教育部体育課			
109	1,400 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、商工会議所の実施する事業の補助を行う。 事業内容が、展示会参加、織物業を市民へ PR するテキスタイル、パソコン教室、ファッションマップの作成等である。	パソコン教室は、繊維業界の IT 化を、テキスタイルやファッションマップの作成は、市民への PR をそれぞれ目指したものであるというように、間接的に織物産業の振興を図るための事業を実施している。しかし、間接的な効果しかないということでは効果測定が不要ということではない。むしろ、マンネリ化に陥らないためにも、明確な目標設定、その達成度の把握し報告させるべきである。
八王子ファッションセンター事業補助金			
産業振興部商工課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
153	32,750 千円	町会等の地区活動を助成し、併せて市行政の円滑な運営を図ることを目的とする。	ザプリングで A 町会の決算書を調べたところ、交付金 386 千円に対して、繰越金 1,892 千円であった。また、他団体への分担金・補助金等約 1 百万円、役員研修 200 千円、特別会計基金繰入 300 千円（目的は明示されていない。）となっている。 町会への交付金は、行政連絡事項の周知事務等を依頼していることに対して支払っているものであるが、市としては、交付金が適正に使用されているかどうか定期的に調査する必要がある。
八王子市町会等事務交付金			
市民部市民課			
46	450 千円	自治功労者会は、八王子市行政の推進に寄与した功労者の団体であり、団体構成員の過去の実績を考慮するとともに、今後とも市行政に対して進言をしてもらうため、自治功労者会の活動費補助をしている。	1.市長と自治功労者会の対話（年 2 回）のなかでの自治功労者からの研修等を踏まえての進言を記録した対話録等の書面が残っていない。 2.市からの補助金を一部の財源として行っている研修は、静岡県修善寺において 1 泊 2 日の日程で行われている。 研修の結果報告及び市長との対話録・会議録等の成果物を残す必要がある。
八王子市自治功労者会補助金			
総務部庶務課			

4．少額補助金

少額補助金については、その有効性が疑わしいため、廃止を含めて見直す必要がある。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
131	140 千円	市内青年団体の健全で活発な集団活動を促進することにより、青年たちの友好、連帯、協力意識を醸成する。	少額補助であり、補助金の有効性が疑わしい。
八王子青年団体連絡協議会補助金			
社会教育部社会教育課			
132	290 千円	略	少額補助であり、補助金の有効性が疑わしい。
ボーイスカウト東京連盟八王子地区協議会補助金			
社会教育部社会教育課			
110	80 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、各織物組合の実施する事業の補助を行う。	低額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
八王子染色加工協同組合			
産業振興部商工課			
48	50 千円	原水爆世界大会へ子供代表団を派遣する。	1．少額補助であり、補助金の有効性が疑わしい。 2．数多くの平和運動団体がある中で、特定の団体への補助は、適切ではない。
原水爆世界大会三多摩代表団派遣補助金			
産業振興部産業政策課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
47	70 千円	世界の恒久平和と人類の福祉増進に関する啓蒙活動に対する補助を行うもの。	少額補助であり、補助の有効性が疑わしい。
世界連邦建設同盟八王子支部補助金			
総務部庶務課			
70	152 千円	八王子市原爆被爆者の会の運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
原爆被害者団体運営費補助金			
福祉部福祉総務課			
75	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
八王子肢体障害者福祉協会補助金			
福祉部障害者福祉課			
76	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
八王子障害者協議会補助金			
福祉部障害者福祉課			
77	135 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更正、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
八王子肢体不自由児者父母の会補助金			
福祉部障害者福祉課			
79	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更正、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
八王子戦傷病者の会同妻の会補助金			
福祉部障害者福祉課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
80	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
	八王子視覚障害者福祉協会補助金		
	福祉部障害者福祉課		
81	180 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
	八王子聴覚障害者福祉協会補助金		
	福祉部障害者福祉課		
82	50 千円	障害者の相互扶助に努め、会員相互の親睦を深め、障害者の自立更生、生活向上を促進する目的で運営費の一部を助成している。	少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。
	八王子身障運転者協会補助金		
	福祉部障害者福祉課		
100	290 千円	市内の植木生産農家の経営向上と緑化推進を図るため、樹木の宣伝と斡旋等販路の拡大を図る。	1.少額かつ補助割合が低く、補助金の有効性が疑わしい。 2.約 14 百万円（1 戸当り 17 万円）の売上高が補助の効果（植木農家の経営向上）として十分であるかどうか疑問である。
	植木流通改善対策事業費補助金		
	産業振興部農林課		
101	90 千円	農業後継者の確保育成を図るため、農業青年団体に補助する。	1.このような少額補助金の有効性は疑わしい。 2.同業者団体の活動内容は、研修を兼ねているが親睦会的なものが含まれている。
	八王子市農業青年協議会活動費補助金		
	産業振興部農林課		
102	215 千円	農業後継者の確保育成を図るため、農業青年団体の自主的活動への助成を行う。	1.低額かつ低率の補助金の有効性は疑わしい。 2.事業内容は、交流目的とはいえ親睦会的なものとなっている。
	八王子市農協青年部補助金		
	産業振興部農林課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
102	215 千円	農業後継者の確保育成を図るため、 農業青年団体の自主的活動への助成を行う。 産業振興部農林課	1.低額かつ低率の補助金の有効性は疑わしい。 2.事業内容は、交流目的とはいえ親睦会的なものとなっている。
八王子みどりの会補助金			
産業振興部農林課			
102	90 千円	農業後継者の確保育成を図るため、 農業青年団体の自主的活動への助成を行う 産業振興部農林課	1.低額かつ低率の補助金の有効性は疑わしい。 2.事業内容は、交流目的とはいえ親睦会的なものとなっている。
プリンスクラブ 補助金			
産業振興部農林課			
133	130 千円	スカウト活動の推進により、市内青少年の健全育成を図るため、連合会活動を実施、リーダー・スカウト等の資質向上と地域に根ざした活動を進める。 社会教育部社会教育課	このような少額補助金の有効性は疑わしい。
ガールスカウト八王子連合会補助金			
社会教育部社会教育課			
135	150 千円	青少年の非行防止並びに健全育成を図るとともに母親の立場から交通安全等を含めた環境浄化活動を推進する。 社会教育部社会教育課	このような少額補助金の有効性は疑わしい
八王子母の会補助金			
社会教育部社会教育課			
110	180 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、各織物組合の実施する事業の補助を行う。 産業振興部商工課	低率・低額の補助であり、有効性が疑わしい。
八王子撚糸工業組合補助金			
産業振興部商工課			
110	290 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、各織物組合の実施する事業の補助を行う。 産業振興部商工課	低額かつ低率の補助金であり、有効性が疑わしい。
八王子織物産地買継商業組合			
産業振興部商工課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
110	80 千円	八王子丸編莫大小事業協同組合 産業振興部商工課	本文中記載
八王子丸編莫大小事業協同組合			
産業振興部商工課			
110	80 千円	伝統的な八王子織物産業の振興を図るため、各織物組合の実施する事業の補助を行う。 産業振興部商工課	低額・低率の補助であり、補助金の有効性が疑わしい。
八王子横編莫大小工業協同組合			
産業振興部商工課			
144	395 千円	レクリエーションの普及振興を通して市民の健康増進と文化生活的向上を図り、豊かで明るい地域社会の創造に寄与する。 社会教育部体育課	市からの助成金 395 千円のうち、205 千円が加盟団体助成費（41 団体×5 千円）に使用されているが、各加盟団体の収入合計額からみた市（レクリエーション協会を経由した）からの支給額 5 千円は、少額補助であり、補助の効果が疑問である。 このような加盟団体助成費補助は、有効性に疑問がある。
八王子市レクリエーション協会補助金			
社会教育部体育課			
142	1,080 千円	八王子市体育協会加盟の各団体の連帯及び強化を図り地域社会における社会体育の充実を目指すため各種研修会等の開催及び役員の派遣、広報の発行により市民への体育・スポーツに対する普及と振興を図るとともに、魅力ある社会体育を構築するため各種事業を行っている。 社会教育部体育課	1.市からの助成金 1,080 千円のうち、840 千円が加盟団体助成費（35 団体×3 万円）に使用されているが、各加盟団体の収入合計額からみた市（体育協会を経由した）からの支給額 3 万円は、少額補助であり、補助の効果が疑問である。 2.各加盟団体の事業報告書によれば、参加人数が 10 名をきる行事を開催している団体もあり、市民への体育・スポーツに対する普及と振興を達成するには、活動内容が程遠いと思われる団体が見うけられる。 このような加盟団体助成費補助は、有効性に疑問がある。
八王子市体育協会補助金			
社会教育部体育課			

5 . 運営費補助

補助事業者の運営費補助をおこなっているが、経営の自主性を図りながら、経済的にも自立させ、運営費補助のあり方を再検討する必要があると思われるものがある。

また、数年来定額の補助がなされているが、補助の対象及び算定根拠が曖昧なものも多く、補助事業者に対し補助金を出す必要があるか、また、必要があるなら補助の目的からして最低限必要な補助金額はいくらか等について再検討すべきものがある。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
134	1,794 千円	市内子供会の健全な向上発展と育成団体相互の連絡及び福祉の向上を図る。	市は奨励的補助として当協議会に対し、事業費及び運営費の 5/10 を補助金額算定根拠として補助金を交付しているが、社会教育部所管の他の補助金は事業費のみの 5/10 を補助金額算定根拠としており、その取扱の差異については明確な根拠がない。奨励的補助との位置付けからしても当協会の運営費に対しては補助する必要はないと思われる。
八王子市子供会育成団体連絡協議会補助金			
社会教育部社会教育課			
138	1,701 千円 (うち車人形は300千円)	文化財の保存・管理活動(活用)等については、管理費、活動費等に経費を要し、所有者等への負担となるため、その経費の一部を補助することにより安心して文化財の保存・伝承・活用に努めてもらう。	車人形保存伝承事業は都の指定する文化財事業であり、市は文化財の維持管理費として過去 5 年以上前から事業者に対し 30 万円の補助を行っているが、なぜ 30 万円が適切な補助額なのか明確な根拠がない。
市指定文化財等保存事業等補助金			
社会教育部郷土資料館			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
138	1,701 千円 (うち説経浄瑠璃は 100 千円)	文化財の保存・管理活動(活用)等については、管理費、活動費等に経費を要し、所有者等への負担となるため、その経費の一部を補助することにより安心して文化財の保存・伝承・活用に努めてもらう。	説経浄瑠璃保存伝承事業は都の指定する文化財事業であり、市は文化財の維持管理費として平成 5 年から事業者に対し 10 万円の補助を行っているが、なぜ 10 万円が適切な補助額なのか明確な根拠がない。
	市指定文化財等保存事業等補助金		
	社会教育部郷土資料館		
138	1,701 千円 (うち山車は 600 千円)	文化財の保存・管理活動(活用)等については、管理費、活動費等に経費を要し、所有者等への負担となるため、その経費の一部を補助することにより安心して文化財の保存・伝承・活用に努めてもらう。	山車保存伝承事業に対し、市は文化財の維持管理費として過去 5 年以上前から事業者に対し 1 台当たり 5 万円の補助を行っているが、なぜ 5 万円が適切な補助額なのか明確な根拠がない。
	市指定文化財等保存事業等補助金		
	社会教育部郷土資料館		

番号	実績	概 要	問 題 点 等	
231 ~ 234	132,187 千円 (内訳) 事 業 費 101,641 千円 人 件 費 26,840 千円 財政調整 基金充当 3,705 千円	本文中記載		
職員互助会交付金				
総務部職員課				
112	37,961 千円	小規模事業者の経営の安定を図るために、商工会議所が経営指導員を派遣したり、講習会を開催したりする。	事業者に対する経営相談は、本来は、受益者負担を原則とするべきものであるため、国等の補助金も含めて 100％に近い補助が必要かどうかは、疑問である。	
経営改善普及事業補助金				
産業振興部商工課				
118	18,120 千円	本文中記載		
平成 11 年度（社）八王子観光協会補助金				
産業振興部商工課				

番号	実績	概 要	問 題 点 等
37~41	27,000 千円（退職金共済掛金補助を除く）	本文中記載	
八王子市勤労市民共済会団体運営事務費補助金			
産業振興部産業政策課			
33～36	93,719 千円	八王子市リサイクル公社はリサイクルプラザを中心にゴミ減量、リサイクルの啓発並びに八王子市北野余熱利用センターの管理運営を行い、もってリサイクル文化の創造に寄与しているため補助金を交付している。	リサイクル公社の業務は、リサイクル公社の自主事業及び管理運営と、市の委託を受けて行う北野余熱利用センターなどの施設の管理の大きく 2 つに分けられる。八王子市からの補助金のうち 9 割以上がリサイクル公社職員の人件費に使用されているが、公社職員のうち市派遣職員 5 名については、担当業務は決められているものの現実の従事割合が把握されておらず、人件費が 2 つの事業でそれぞれどれだけ発生したかが正確に把握されていない。 今後、各事業ごとの人件費を把握し、予算実績比較及び年度別実績比較等により効率化等業務改善を図っていくことが望ましい。
八王子市リサイクル公社補助金			
清掃部リサイクル推進課			
49～54	9,316 千円	交通道德の高揚と交通施設の改善を図り、交通の円滑と安全に寄与するため活動する八王子交通安全協会への財政援助。	市は、当協会の事業費のみならず運営費も補助対象として、運営費申請額の約 8/10（70,000 円）を補助しているが、明確な根拠はない。
八王子市交通安全協会補助金			
環境部交通安全課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
61	520 千円	地域の駐車秩序の確立及び交通の安全と円滑に寄与するため活動する同協議会への財政援助。	市は、当協議会の事業費のみならず運営費も補助対象としているが、明確な根拠はない。
八王子交通安全活動推進委員協議会補助金			
環境部交通安全課			
55～60	5,048 千円	交通道德の高揚と交通施設の改善を図り、交通の円滑と安全に寄与するため活動する高尾交通安全協会への財政援助を行う。	市は、当協議会の事業費のみならず運営費も補助対象として、交通安全協会連絡会活動費 70,000 円を補助しているが、市は当協会を“市の事業を補完する事業を行う団体”と位置付けていることからして、事業費に対してのみ補助金を支給すれば足りると思われる。
高尾交通安全協会補助金			
環境部交通安全課			
96	52,080 千円	高齢者の就業機会の確保等を行う標記センターへの人件費及び管理運営費の補助を行う。	市に代わって、高齢者の就業機会を提供する重要な役割を担っているという認識のもと、要綱はないが、人件費全部及び管理運営費の一部（役員報酬（市の職員退職者他）、賃借料等）を負担している。 組織は、会長、副会長、常務理事、事務局長、職員 4 名となっており、人員配置のバランスが悪いと思われる。これらの人件費、すなわち役員報酬＋職員 5 名の負担も大きいので、元市職員の役員への派遣も含めて人員配置を再検討するべきである。
（社）八王子市シルバー人材センター団体運営事務費補助金			
産業振興部産業政策課			

6 . 補助の有効性に問題があると認められるもの

補助の目的は、適正なものと考えられるが、補助制度の利用者が少ない場合等、有効性が期待できないと思われるものがある。

また、補助事業者が補助金等の一部を他の団体（別の補助目的のための市の補助事業者である場合もある）に交付金等として納付している場合、その効果は確かめられず、有効性には疑問が残る。特に、交通安全関係、防犯関係、消防関係においては、補助事業者が複数ある上に、補助金等の流れの迂回等が見られ、複雑化しているため、有効性に疑問が感じられる。このようなものについては、整理統合して有効性を図ることが望まれる。

また、補助の目的からして、長い間継続して補助を続けることは有効ではなく、一定期間の補助で足りると思われるものもある。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
122	50 千円	少年少女が公德心を養い規律ある行動と、防火防災に関する知識を身につけ社会に役立てることを目的に行っている八王子消防少年団育成事業のうち、夏季合宿訓練経費の一部を市が補助している。	八王子市消防少年団は、市が補助対象事業費の一部を補助している八王子防火協会より、夏季合宿訓練経費のうち 6 万円を、その他の事業費として 7 万円を支給されているなど（防火協会の補助対象外事業費より支給） 補助金の流れが複雑になっている。市は、このような迂回補助の実態を踏まえて補助の決定を行っているのかどうか、疑問である。 補助金の支給先を統合する方向で考えることが必要と思われる。
八王子市消防少年団補助金			
総務部防災課			
302	30 千円	南多摩地区消防団相互の連絡協調並びに消防団員の消防知識・技能向上及び福利厚生を図り、消防団の活動を強化するもの。	当協会当支部の収入のうち約 1/3 が、八王子市が負担金を支出している東京都消防協会からの収入であり、市は消防協会本体を通じて当支部に二重の負担金を支出していると考えられる。 消防協会全体の運営及び資金の流れを勘案し、消防協会本体及びその支部それぞれに負担金を支出する必要があるのか再検討することが必要である。
東京都消防協会南多摩支部負担金			
総務部防災課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
62	280 千円	地域の駐車秩序の確立及び交通の安全と円滑に寄与するため活動する同協議会への財政援助を行う。	市からの補助金 280 千円のうち、事業実施に直接かかる費用（装飾費、広報活動費、活動記録費）は 170 千円であるが、170 千円の範囲で当協議会が事業を行うことにより、“地域の駐車秩序の確立及び交通の安全”という市の目的が達成されるとは言い難い。
高尾交通安全活動推進委員協議会補助金			
環境部交通安全課			
172	312 千円	中小企業勤労者の厚生に要する資金について金融機関に融資を斡旋することにより中小企業勤労者の福祉の向上を図る。	利用者が平成 11 年度は 10 件のみ。他の有効な方策を講じるべきである。
中小企業勤労者厚生資金貸付信用保証料補助金			
産業振興部産業政策課			
107	270 千円	八王子市内の林野火災の防止について連絡協議を行うとともに、その対策を協議し、もって林野火災の防止と被害軽減に努める。	当協議会の災害対策事業は、防火用水ポンプの設置が中心であるが、他の防災事業と重複している（高尾・陣馬特別警戒への支援等）。防災、防犯を目的とする多数の任意団体に対してそれぞれ補助を行うことは、効率性に疑問があるため、整理統合することが望まれる。
八王子山火事防止協議会補助金			
産業振興部農林課			
174	46 千円	経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、農業経営改善計画の認定を受けた農業者を資金面で支援する。	平成 11 年度末時点で 1 件しか利用されていない。他の有効な方策を講じるべきである。
農業経営基盤強化資金利子助成金			
産業振興部農林課			
175	3,800 千円	野菜出荷箱に八王子特産を明記し、よりいっそうの特産化を図り、地場生産物の宣伝及びブランド化、また市場流通における有利販売を期することにより、農業経営の確立及び都市農業の発展を期す。	本来ならば、出荷箱に関する工夫は、農家或いは農協が自主的に行うべきものであると考えられるため、市としては、これらのブランド化の推進を図るという目的のためには、一定期間の補助を行うことで足りると思われる。 既に平成 4 年から開始されており、一定の成果をあげたならば、市が補助し続ける意味はないと思われる。一定期間後の廃止を検討するべきである。
野菜出荷箱統一事業補助金			
産業振興部農林課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
181	15 千円	検定により高能力が認められた乳用牛の受精卵を使用することにより短期間で自家育成牛を改良して乳質の高い能力牛を育成し経営の向上を図る。	件数が著しく減ってきており、効果が十分に上がっていないと思われる。他の有効な方策を検討すべきである。
受精卵移植事業費補助金			
産業振興部農林課			
261	3,794 千円	消防団員福祉共済制度に加入することにより、昼夜の別なく危険な災害現場へ出動しなければならない消防団員及びその家族に対し、被災後の生活を保証するために加入するもの。	当共済会による補償項目、被保険者等の内容は、市が条例で定めている消防団員公務災害補償費と重複する部分もあり、当掛金を拠出する必要性に疑問がある。 市から消防団（消防団員が恩恵を受けることになる補助等の対象団体を含めて）に対し補助しているものを全て洗い出し、同じ目的の為に二重に補助していないか等検討し、整理統合すべきである。
消防団員任意共済掛金			
総務部防災課			
207	66 千円	私立高校入学時に要する資金の経済的負担軽減により教育の機会均等を図る。	1.20 名枠のうち、10 名しか使用されていない。（過去 10 年平均 7 件） 2.補助金制度の必要性そのものが疑わしい。 この補助金の趣旨としては、小学校・中学校は義務教育なので機会均等が図られているが、高校はそれがないので経済的負担を軽減する必要があるということである。（八王子市において、全中学校生、全高校生に占める私立学校の生徒は、それぞれ 15.7%、47.4%） ・私立高校に通学することは一般的であるから教育の機会均等のためにこの補助が必要とのことであるが、そのためには 8,064 人の私立高校生に対し、20 名の定員枠はあまりにも少ないといえる。 ・前々年の総収入が 1,210 万円以下の家庭のみが対象となるが、適切な基準かどうか疑問である。仮に年収 1,210 万円の世帯主の子供が対象となった場合は、利子補給による負担軽減額は、家計のわずか 0.01% 以下にしかない。 補助金制度の必要性を見直すべきである。『経済的負担を軽減する』必要性が認められたならば、もっと有効な手段を講じる必要がある。
私立高等学校入学資金利子補給金			
学校教育部庶務課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
193	2,565 千円	近年における目覚ましい科学技術の発展への追従や経営環境の改善のため、自社工場を求める中小工場が増えており、それらの工場に対し、市が低利な融資を斡旋することにより住・工の混在化の改善と工場の近代化を促進させる。	利用状況が悪い（平成 11 年度新規貸付実績 0 ）。 他の有効な手段を講じることが必要である。
工場近代化事業資金 利子補給金			
産業振興部商工課			
191	0	大規模小売店舗が出店することによりその周辺地域の小売業者は多大な影響を受ける。それら影響を受ける小売業者に対し、市が低利な融資を斡旋することにより経営の安定を図り小売業の正常な発展を促進するものである。	平成 5 年以来新規貸付実績なし。 他の有効な手段を講じることが必要である。
大型店対策事業資金			
産業振興部商工課			
190	1,171 千円	中心市街地環境整備区域内等の店舗の新・増・改築及び時間貸し駐車場、駐輪場の設置事業並びに商店会が行う共同施設設置事業に対し、市が低利な融資を斡旋することにより、商店街の近代化を促進する。	平成 9 年以来新規貸付実績なし。 他の有効な方策を講じるべきである。
商店街近代化事業資金 利子補給金			
産業振興部商工課			
171	1,166 千円	収集可燃ごみの約 4 割を占める生ごみについて、市民が生ごみの自家処理に取り組むため、処理機器を購入する際、費用の一部を補助する。	当補助制度と補助の規模からでは、啓発的な意義は認め得ても、生ごみ減量化・資源化という目的達成は非常に困難と思われる。 他の事業の検討を含めて有効性を図るべく再検討が必要である。
生ごみ減量化処理機器等購入費補助金			
清掃部リサイクル推進課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
235	27,910 千円	市民の相互扶助の精神に基づき交通弱者等の保護及び公共的危険活動従事者の援助の見地から市で負担する。	当負担金による保護対象者として、消防団員が含まれているが、消防団員に対する障害保険は総務部の補助金において複数手当されていることから、重複している可能性がある。
交通災害共済会費特別加入分負担金			
環境部交通安全課			
302	30 千円	住民に対する防災情報の伝達手段として防災行政無線を設置しているが、これらの自営固定無線通信に関する情報の収集、交換及び調整を行うもの。	当協会から送られてくる資料を利用した形跡は見当たらず、かつ、職員が当協会の主催する会議等へ全く出席していないことから、当協会に対し負担金を支出する必要があるのか疑問である。
自営無線ユーザ協会負担金			
総務部防災課			
309	1,886 千円	各種協議会等に参加し、知識・情報等を入手するとともに、近隣自治体との相互の連絡、協調を行うことにより、各種事業の振興を図る。	以下の負担金については、協議会等から送られてくる資料を利用した形跡は見当たらず、かつ、職員が協議会等の主催する会議等へ全く出席していないことから、協議会等に対し負担金を支出する必要があるのか疑問である。 ・全日本プラネタリウム連絡協議会年会費 12,000 円 ・日本アマチュア無線連盟年会費 10,800 円 ・東京都体育・スポーツ振興期成会負担金 6,900 円
各種協議会・大会負担金			
社会教育部 学校教育部			
222 223	772 千円 6 千円	自転車を利用して通学している生徒に年 2 回分パンク修理代相当額を補助する。	1.電車・バス等の交通機関と異なり、自転車の利用については、必要性等も曖昧である。 2.仮に補助する場合でも、年 2,000 円の補助の経済負担軽減効果は、有効とは考えられない。補助するならば、自転車購入費相当額を補助するべきである。
自転車通学生徒補助金、相談学級自転車通学費補助金			
学校教育部学務課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
89 167	341 千円 1,667 千円		本文中記載
公衆浴場事業振興補助金 公衆浴場設備改修補助金			
保健医療部保健管理課			
45	450 千円	市民生活の中に精神運動を通じて親切心の発揚をはかり、明るい社会環境を創造する。	昭和 36 年頃の設立時より、親切傘の設置、親切に対する表彰、啓蒙運動がなされているが、マンネリ化しており、効果も薄いと推定される。 親切行為に対する報償は、市長による表彰等他の方法でも代替できると考えられる。
八王子親切会補助金			
市民部市民課			

7. 剰余金・基金等が多くあるもの

使用予定の明確でない基金を有していたり、剰余金がある団体については、そのような状況を補助金等算定において考慮に入れるべきである。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
235	27,910 千円	市民の相互扶助の精神に基づき交通弱者等の保護及び公共的危険活動従事者の援助の見地から市で負担する。	東京都市町村民交通災害共済事業特別会計は、例年 1 億円以上の剰余金が出ており、かつ、平成 11 年度末において 12 億円の交通災害共済基金残高がある。基金は今まで取崩されたことは無い。 当共済会に対し、負担金の減額、または、剰余金及び基金の会員への返還について意見を具申することが望まれる。
交通災害共済会費特別加入分負担金			
環境部交通安全課			
263	2,910 千円	消防団員相互の親睦と福利厚生を図るための共済会運営事業費のうち 50% を消防団設置者の負担として助成するもの。	共済会における平成 11 年度末の剰余金(基金)残高は 1,762,249 円であり、補助の割合からして、少なくともこのうちの半額である 881,245 円が市に返還されるべきと考えられるが、共済会是不測の支出に備え、剰余金を全て基金として積み立てている。不測の事態のために、基金として積立てられている当共済金の剰余金は、同じく市が補助金を支出している消防団員福祉共済掛金により補填が可能と思われる。 剰余金を毎年負担割合に応じて市に返還するよう要求することが望まれる。
消防団共済会負担金			
総務部防災課			
299	60 千円	中央線の立体化複々線を促進するとともに、本事業によってもたらされる地域社会の開発、住民福祉の向上等の地域振興を図り、合わせて青梅線及び五日市線の輸送力増強や都心への直通を促進する。	11 年度末剰余金残高が 924,051 円となっている。 翌年度以降市町村会員の会費を免除及び減額しない限り、当協議会において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、市は当協議会に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費を免除及び減額すべき旨を具申することが望まれる。
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会負担金			
都市計画管理室			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
299	40 千円	多摩都市地域の都市モノレール等の建設を促進し南北交通結節機能の強化を図ることにより、公共交通機関の不足を補うとともに、自立都市圏の確立と地域社会の開発及び住民福祉の向上を図る。	平成 11 年度末剰余金残高が 1,361,068 円となっている。当協議会において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、市は当協議会に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費を免除又は減額すべき旨を具申することが望まれる。
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会負担金			
都市計画管理室			
83	2,792 千円	単位老人クラブを指導・統括する連合会に対し、人材育成のための研修及び場の確保等に補助金を交付し、支援して行くもの。	交付対象団体の年度末繰越金が補助金額を超している。 (補助金実績額 2,792 千円、年度末繰越金 3,053 千円) 補助金額の査定に当たっては、資金残高及び前年度の執行状況をも考慮の対象とすべきである。
老人クラブ運営費補助金 (老人クラブ連合会)			
福祉部高齢者支援課			
71	31,122 千円	知的障害児通園施設「すぎな愛育園」運営費を補助し、就学前の知的障害者に生活、学習、運動などの指導を行うことを目的に補助金を交付している。	年度末繰越金が事業費総額に対して高率となっている。 〔 補助金実績額 31,122 千円、期末繰越金 26,232 千円、 〕 事業費総額 181,980 千円 補助金の見直しを含め、資金の有効利用の観点から施設改修や事業のレベルアップなどの再検討を行うことが望ましい。
知的障害児通園施設振興補助金			
福祉部障害者福祉課			
16	208,435 千円	社会福祉事業の能率的運営と組織的活動の展開に助成を行うことにより、本市の地域福祉の推進を図る。	補助金の実績金額は 208,435 千円に対して、基金残高は 481,708 千円である。 基金は個人会員が 100 万円以上を寄付した場合に繰入れられるものであり、基金の運用により得た収益金を会費に充当することとされているものである。したがって、基金は補助金から形成されたものではないが、期末資金残高と同様、補助金算定の上で考慮の対象とすべきものと思われる。
八王子市社会福祉協議会			
福祉部福祉総務課			

番号	実績	概 要	問 題 点 等
96	52,080 千円	高齢者の就業機会の確保等を行うセンターへの人件費及び管理運営費の補助を行う。	市に代わって、高齢者の就業機会を提供する重要な役割を担っているという認識のもと、要綱はないが、人件費全部及び管理運営費の一部（役員報酬（市の職員退職者他）、賃借料等）を負担している。しかし、この社団法人には、剰余金が 16 百万円ある。 社団法人として法人税課税の対象とならないための『少額な剰余金』とは、『次期繰越収支差額＋減価償却引当預金』が配分金支出の 1 ヶ月分を上回らないことと解されている。当社団の場合は配分金支出の 1 ヶ月分は 31 百万円であるから、それよりは遥かに下回っているものの、剰余金が多額にあるため、補助金の支給水準については、常に見直す必要がある。
	(社)八王子市シルバー人材センター団体運営事務費補助金		
	産業振興部産業政策課		
302	20 千円	消防事務委託に伴う三多摩地区常備消防の運営に関する都の消防計画について知事に意見を具申し、当該地区における消防行政の円滑な運営と消防力の強化を期する。消防事務を委託した東京都の市町村長及び議会議長により組織。	東京都三多摩地区消防運営協議会の平成 11 年度決算書によると、剰余金残高は 823,935 円となっている。 当協議会において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、市は当協議会に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費を免除又は減額すべき旨を具申することが望まれる。
	東京都三多摩地区消防運営協議会負担金		
	総務部防災課		
302	30 千円	南多摩地区消防団相互の連絡協調並びに消防団員の消防知識・技能向上及び福利厚生を図り、消防団の活動を強化するもの。	当協会当支部の平成 11 年度末剰余金残高は 311,607 円となっている。 当協会当支部において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、市は当協会当支部に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費を免除又は減額すべき旨を具申することが望まれる。
	東京都消防協会南多摩支部負担金		
	総務部防災課		
302	165 千円	三多摩地区消防団相互の連絡協調並びに消防団員の消防知識・技能向上及び福利厚生を図り、消防団の活動を強化するもの。	平成 11 年度末剰余金残高が 1,761,155 円となっている。 当連絡会において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、市は当連絡会に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費を免除又は減額すべき旨を具申することが望まれる。
	三多摩消防団連絡会負担金		
	総務部防災課		

番号	実績	概 要	問 題 点 等
302	445 千円 (うち研修 負 担 金 320 千円)	南多摩地区消防団相互の連絡 協調と親睦を図り、消防団活動を 強化するとともに、消防思想の普 及と住民共同の福祉に寄与する。	平成 11 年度末剰余金残高が 308,009 円となっている。 当連絡会において剰余金を蓄積しておく必要はないと思われるため、 市は当連絡会に対し、剰余金を分配するか翌年度以降市町村会員の会費 を免除又は減額すべき旨を具申することが望まれる。
	南多摩地区消防団連 絡会負担金(災害対策 視察研修負担金含む)		
	総務部防災課		

8 . その他

(1) 補助金等という科目が不適切なもの

番号	実績	概 要	問 題 点 等
236	200 千円	無料税務相談を行うことにより、市民の利便を図るとともに、申告納税制度の理念や正しい税知識の普及を図る。	実質的には、補助金ではなく謝金の性格を持っている。「謝金」方式等、実績に応じた支払方法への変更が望ましい。
東京税理士会八王子支部補助金			
税務部住民税課			

(2) 要綱の規程の見直しが必要と思われるもの

番号	実績	概 要	問 題 点 等																													
149	281,719 千円	自主学童クラブ（放課後の活動場所を提供するとともに指導員による指導を通じて留守家庭の小学校低学年児童の健全育成を図る組織）による学童保育事業に対して地域のコミュニティ活動支援の一環として交付される補助金。 「八王子市自主学童クラブ運営事業に対する補助金交付要綱」（以下、「要綱」という。）によって補助額が計算されている。	要綱は、最低開所日数に関する規程の他は、補助金の上限を規程する内容となっている。すなわち、学童クラブの自主的な運営を尊重するため、指導員数、常勤職員の勤務時間等について、標準とされるものが設定されており、それに基づいた補助金算出額が上限と規程されている。 なお、実際には、以下のように標準から乖離した弾力的な運営がなされている。 指導員の人数・構成 ほとんどの自主学童クラブの指導員の人数・構成が標準の配置基準と合致していない。また、常勤指導員がゼロのクラブが以下の２件存在した。 <table><thead><tr><th></th><th></th><th>常勤</th><th>非常勤</th><th>臨時</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">館町学童クラブ</td><td>標準</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>実際</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="2">下柚木学童クラブ</td><td>標準</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>実際</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></tr></tbody></table> 指導員の勤務時間 指導員の就業時刻が要綱に記載された時刻（常勤の場合：原則 18:00pm まで）よりも早いところが以下の３件存在した。 <table><tbody><tr><td>唐松学童クラブ</td><td>17:45pm</td></tr><tr><td>高倉学童クラブ</td><td>17:15pm</td></tr><tr><td>まつぎ学童クラブ</td><td>17:15pm</td></tr></tbody></table> このような時間で終了する場合であっても他の常勤（週 40 時間）と同じ人件費が支払われる。 以上は、個々の自主学童クラブの事情に照らし、弾力的な運営の範囲内として許容されるものと推測されるが、市として、補助対象とする以上、要綱上、提供されるべき最低サービス水準の定めを設けることを検討することが望ましい。			常勤	非常勤	臨時	館町学童クラブ	標準	2	1	0	実際	0	2	2	下柚木学童クラブ	標準	3	0	0	実際	0	2	2	唐松学童クラブ	17:45pm	高倉学童クラブ	17:15pm	まつぎ学童クラブ	17:15pm
		常勤	非常勤	臨時																												
館町学童クラブ	標準	2	1	0																												
	実際	0	2	2																												
下柚木学童クラブ	標準	3	0	0																												
	実際	0	2	2																												
唐松学童クラブ	17:45pm																															
高倉学童クラブ	17:15pm																															
まつぎ学童クラブ	17:15pm																															
自主学童クラブ 運営補助金																																
生涯学習部交流課																																

番号	実績	概 要	問 題 点 等
157	36,136 千円	グループホーム（生活の場であるとともに日常生活における必要な指導等を行う施設）で借り上げている借室料に対して補助を行っている。	この借室は障害者の入居に備えて空室の場合でも、認可室数満額の補助が行われている。借室確保の観点から空室の必要性を認めるものであるが、そのことについて要綱の上で明記されていない。「補助金交付要綱」に空室の場合の補助金支給の規定を明記すべきである。
精神障害者グループホーム運営費			
福祉部障害者福祉課			

（３）資産購入補助の場合には、原則通り、２社以上から見積を取るべきもの

番号	実績	概 要	問 題 点 等
177	1,050 千円	野生獣による農作物の被害に対し、野生獣の耕作地への侵入を防止する方法により、地域の状況に即した効果的な被害防止策を実施し野生獣と農業者・山村生活者との共存を図る。具体的には、電気柵の購入補助である。	高価な柵であるのに八王子市農協以外からは見積を取っていない。原則通り、2 社以上の見積徴収を義務付けるべきである。
緊急獣害防止対策事業費補助金			
産業振興部農林課			
179	9,144 千円	畜産経営の生活環境を保全するとともに地力の回復を図り近代的畜産経営の安定を期する。具体的には家畜ふん尿処理施設の整備のための機械購入補助である。	高額な機械を購入するのに、農協だけ特別扱いで 2 社以上の見積を取るという原則の例外となっている。原則通り、2 社以上から見積を取るべきである。
八王子市畜産都市環境整備事業			
産業振興部農林課			
117	1,300 千円	年末年始の高尾・陣馬山方面の警備警戒について万全を期すため、警戒事業を行う団体に対して補助を行う。	委託契約は、諸事情を理由として、慣れている業者が必要ということで、すべて随意契約となっている。委託の契約に当たっては、原則どおり、2 社以上の見積を徴収することが必要である。
高尾陣馬特別警戒事業補助金			
産業振興部商工課			

(4) 複数の補助制度の間のバランスを再検討するべきだと思われるもの

番号		実績	概 要	問 題 点 等				
208 ~ 211		249,947 千円	私立幼稚園児の保護者に入園料・保育料を市町村民税の課税額に応じて減免する。 八王子市に在住の幼稚園児に対して交付されるもので、幼稚園自体は、八王子市内になくても対象となる。 209、210 の未認可幼稚園とは、「みどり幼児園」(八王子市)一園である。 211 の無認可幼稚園とは、「ササノ幼児園」(町田市)一園である。 なお、211 の 2,700 円という補助額は、他の園児及び在宅児の保護者に支給される愛育手当と同額である。	1.208 と 209 の補助額の差額は、就園費の保護者への負担を考慮したものではない。				
私立幼稚園就園奨励費・保護者負担軽減補助金		2.未認可幼稚園に対する補助は、209 と 210 と双方が必要かどうか再検討する必要がある。						
学校教育部学務課		3.無認可幼稚園に就園する子の保護者は、2,700 円という愛育手当相当額の補助しか受けられない。						
		市は、市内の私立 / 無認可 / 未認可それぞれの幼稚園で、園児 1 人当たり保護者の負担がどのくらいかかるか調査していない。市としてそれぞれの保護者の負担を調査し、214、215 も含めて、幼児保育全体の中で、負担の軽重、幼児及び教職員の健康管理の必要性に配慮し、公平な補助を行うことが望まれる。						
				208	209	210	211	
				私立幼稚園	未認可幼稚園	私立・未認可	無認可幼稚園	
		補助金名		就園	就園	保護者負担軽減	保護者負担軽減	
		上部団体の補助		国が 1 / 3、市が 2 / 3	なし	市が 2,700 円、残りが都	なし	
		1 人当たり園費		平均 358 千円	調査なし	平均 358 千円	調査なし	
		(補助額)					(一律) 2,700 円	
		非課税・生活保護		133,000 円	37,500 円	8,900 円		
		所得割額非課税		101,200 円	25,500 円	7,200 円		
8,800 円以下	78,100 円	13,500 円	↓					
102,100 円以下	54,900 円							
140,000 円以下	なし	なし						
214		4,685 千円	私立幼稚園児の健康管理の充実を図る。	208 ~ 211 に記載した内容と同じ。				
私立幼稚園児童健康管理事業補助金								
学校教育部学務課								

番号	実績	概 要	問 題 点 等
215	1,054 千円	教職員の健康保持を図るための健康診断を補助する。	208～211 に記載した内容と同じ。
私立幼稚園教職員健康管理事業			
学校教育部学務課			

(5) その他、監査の過程で気がついたその他の事項は以下の通りである。

番号	実績	概 要	問 題 点 等
12	436,838 千円	市が市民の芸術文化活動の振興、伝統文化の継承発展とともに新たな市民文化の創造に寄与するために設立した財団への団体及び事業への補助	利用率が低い会館施設がある。施設の有効利用対策が望まれる。 利用率（ 利用日数 / 利用可能日数 ）が 40％以下の会館施設は、37 件中 7 件あり、以下のような利用率になっている。 1．芸術文化会館 第 1 展示室 31.9％ 第 2 展示室 25.0％ 第 1 茶室 35.5％ 第 2 茶室 24.0％ 特別室 12.5％ 2．市民会館 第 8 会議室 23.0％ 3．南大沢文化会館 展示室 6.5％
八王子文化振興財団補助金			
生涯学習部推進課			
308	40 千 円	高圧ガス保安法第 35 条に基づく保安検査のための負担金。市立小宮小学校は横田基地航路周辺のため、全館冷房となっており、フロンガスが冷凍機を使用のため、上記保安検査を（社）東京都高圧ガス保安協会に依頼している。	地球環境の観点から代替フロンガス等に対応するために冷凍機の機種転換が望まれる。
高圧ガス保安協会負担金			
学校教育部施設課			

以上